

## 愛称：AAフォーカスリート オーストラリア・アジアREITファンド

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)  
Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

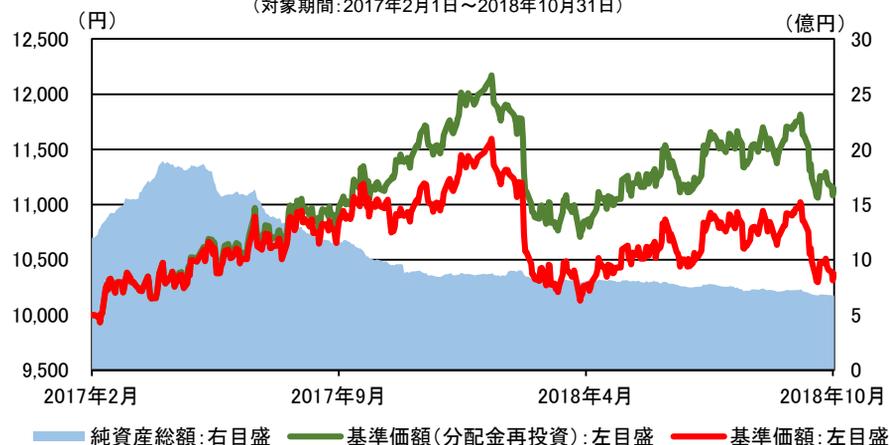
当ファンドの基準価額は設定来、投資対象地域の堅調な景気や不動産市況等を背景に、底堅く推移してまいりました。本資料では、オーストラリア、シンガポール、香港の足元の市況動向や今後の見通しについてご説明いたします。

### Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)

#### 運用実績

基準価額及び純資産総額の推移  
(対象期間:2017年2月1日～2018年10月31日)

2018年10月31日時点

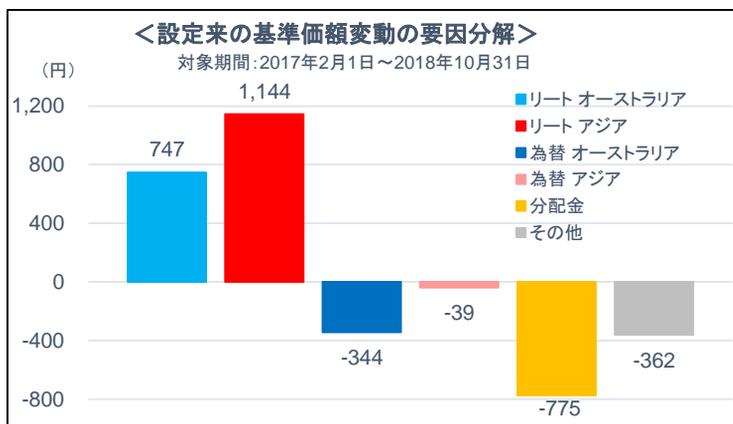


基準価額	10,371円
純資産総額	6.75億円
設定来騰落率	11.43%

#### 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来	775円	6月	25円
2018年2月	25円	7月	25円
3月	25円	8月	25円
4月	25円	9月	25円
5月	25円	10月	25円

#### 要因分解



※基準価額は、信託報酬控除後です。

※基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

※設定来騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

※分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■本資料は、投資者の皆様様に「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

当ファンドの基準価額は設定来、投資対象地域の堅調な景気や不動産市況等を背景に、底堅く推移してまいりました。本資料では、オーストラリア、シンガポール、香港の足元の市況動向や今後の見通しについてご説明いたします。

## Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

## 運用実績

基準価額及び純資産総額の推移  
(対象期間:2017年2月1日～2018年10月31日)

2018年10月31日時点

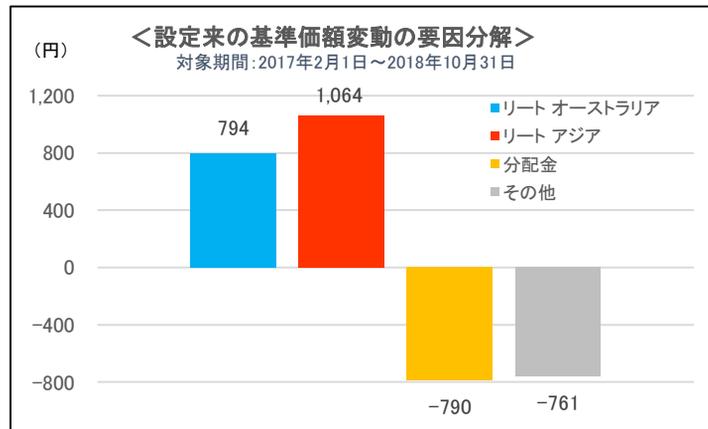


基準価額	10,307円
純資産総額	1.63億円
設定来騰落率	11.05%

## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来	790円	6月	10円
2018年2月	10円	7月	10円
3月	10円	8月	10円
4月	210円	9月	10円
5月	10円	10月	210円

## 要因分解



※基準価額は、信託報酬控除後です。

※基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※設定来騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※要因分解の「その他」には為替ヘッジプレミアム/コスト等を含みます。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

当ファンドの基準価額は設定来、投資対象地域の堅調な景気や不動産市況等を背景に、底堅く推移してまいりました。本資料では、オーストラリア、シンガポール、香港の足元の市況動向や今後の見通しについてご説明いたします。

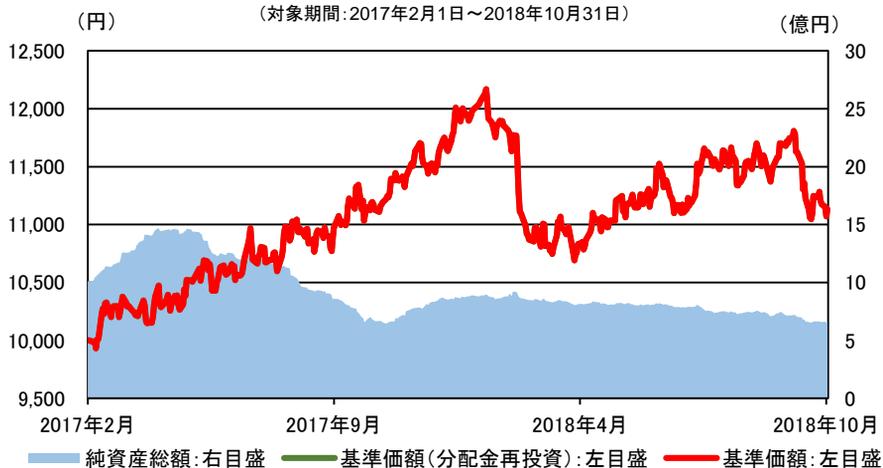
## Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)

## 運用実績

## 基準価額及び純資産総額の推移

(対象期間:2017年2月1日～2018年10月31日)

2018年10月31日時点

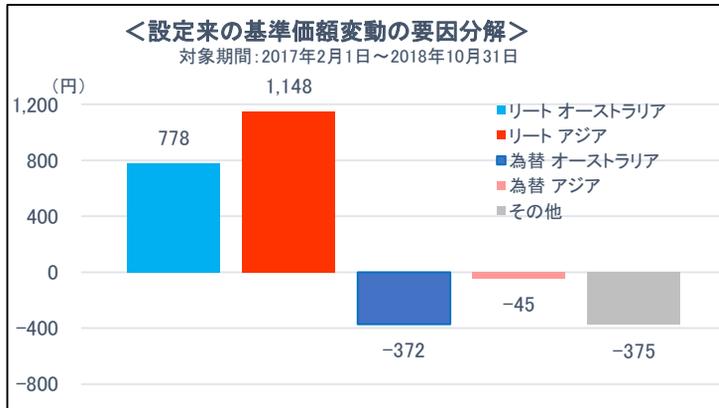


項目	2018年10月31日時点
基準価額	11,134円
純資産総額	6.61億円
設定来騰落率	11.34%

## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来	0円
2017年4月	0円
10月	0円
2018年4月	0円
10月	0円

## 要因分解



※基準価額は、信託報酬控除後です。

※分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

当ファンドの基準価額は設定来、投資対象地域の堅調な景気や不動産市況等を背景に、底堅く推移してまいりました。本資料では、オーストラリア、シンガポール、香港の足元の市況動向や今後の見通しについてご説明いたします。

## Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

## 運用実績

基準価額及び純資産総額の推移  
(対象期間:2017年2月1日～2018年10月31日)

2018年10月31日時点

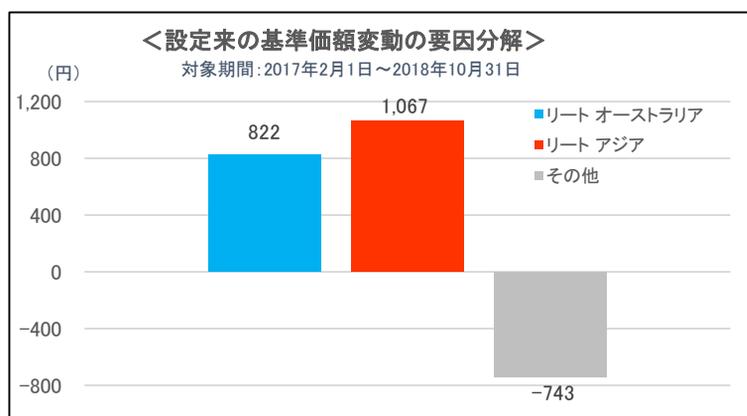


項目	2018年10月31日時点
基準価額	11,146円
純資産総額	1.46億円
設定来騰落率	11.46%

## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来	0円
2017年4月	0円
10月	0円
2018年4月	0円
10月	0円

## 要因分解



※基準価額は、信託報酬控除後です。

※分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※要因分解の「その他」には為替ヘッジプレミアム/コスト等を含みます。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

## オーストラリア・アジアのリートは概ね堅調に推移



オーストラリアやアジアのリートは、米国長期金利の上昇などの影響から、軟調になる場面もみられたものの、各国・地域の堅調な経済や不動産市況、リートの収益拡大を背景に、概ね堅調な推移となっています。

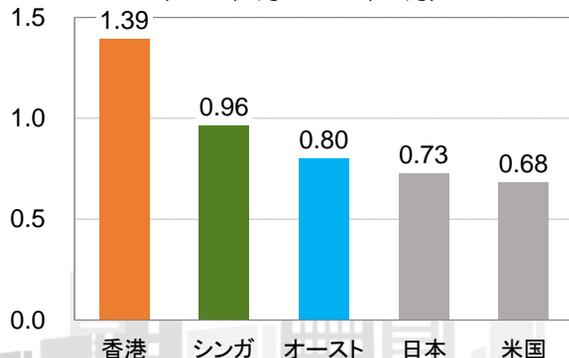
オーストラリア・アジアのリートのパフォーマンス  
(2014年1月初～2018年10月末)



## ご参考

### リターン/リスク比が相対的に良好な オーストラリア・アジア

主要国・地域のリートのリターン/リスク比\*  
(2009年1月～2018年10月)

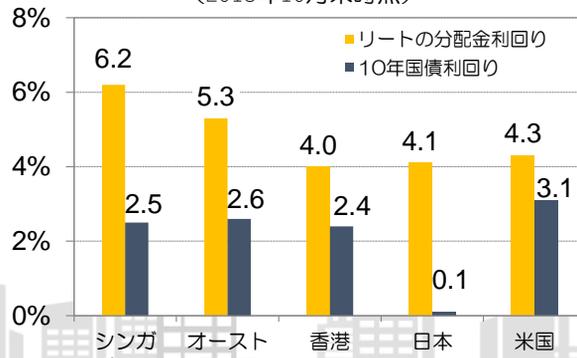


\*各国・地域のS&P REIT指数(現地通貨ベース、トータルリターン)について、リターンをリスクで除した値。

※リターンは月次騰落率の平均値、リスクは月次騰落率の標準偏差をそれぞれ年率換算した値。

### オーストラリア・アジアのリートの 分配金利回りは魅力的な水準

リートの分配金利回りと国債利回り  
(2018年10月末時点)



各国・地域リート：S&P REIT指数の各国・地域別インデックス  
※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。

(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

## 年初来のオーストラリア・アジアのリートの推移



## Australia

オーストラリアのリート、株式、10年国債利回りの推移  
(2018年1月初～2018年10月末)

## Asia

アジアのリート、株式、10年国債利回りの推移  
(2018年1月初～2018年10月末)

※リートはS&P REIT指数の各国・地域別インデックス(現地通貨ベース、トータルリターン)、オーストラリア株式はS&P/ASX 200インデックス(現地通貨ベース、トータルリターン)、アジア株式はMSCI AC アジア(日本除く)インデックス(現地通貨ベース、トータルリターン)を使用。  
(日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんセットマネジメント株式会社が作成)

## 期間A (2018年2月1日～2018年2月9日)

米国でFRB(連邦準備制度理事会)の物価判断が引き上げられたことや、賃金の伸びの加速などに伴う長期金利の上昇を背景に金融市場が動揺するなか、世界的に株式やリートが売られる展開となり、**オーストラリア**や**アジア**のリートも下落しました。

## 期間B (2018年6月1日～2018年8月31日)

米国長期金利の上昇に一服感がみられ、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、**オーストラリア**や**アジア**のリートは堅調に推移しました。

**オーストラリア**では、複合型リートの保有資産価値の引き上げ発表や、大手運用会社のオフィスリートに対する買収提案などが好感されました。

**シンガポール**では、増資の増加などを背景に7月までは下落したものの、その後、堅調な決算などが市場で好感され反発する展開となりました。

**香港**では、中国で発表された内需拡大に向けた政策案や、堅調な小売売上高の発表などが市場で好感される要因となりました。

## 期間C (2018年9月1日～2018年10月31日)

米国長期金利が上昇傾向となるなか、米トランプ大統領による対中制裁関税の強化発言などを受けた米中貿易摩擦激化懸念の高まりなどから、**オーストラリア**と**アジア**のリートは軟調となりました。

**アジア**では、大きく下落した**香港**と比較して、**シンガポール**のリートの下落幅は小さくなりました。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

## オーストラリア・アジアのリートの今後の見通し



- 相対的に安定したオーストラリアの経済やアジア地域全体の高水準な経済成長は継続するとみており、良好な不動産ファンダメンタルズが続くと見込まれることや、他の国・地域と比較して高い配金利回りなどを背景に、オーストラリアやシンガポール、香港のリートは引き続き注目されると考えられます。
- 今後のリスクとしては、米国長期金利の上昇が想定以上に加速する可能性や、米中貿易摩擦の深刻化を受け、世界経済の成長が減速する可能性が挙げられます。これらのリスクに留意しながら、今後も、オーストラリアとアジアの景気動向や不動産ファンダメンタルズ、各市場の成長見込み、制度整備状況などを見極め、幅広い投資機会に注目し、柔軟な銘柄選別を行って参ります。以下では、地域別にご説明いたします。



**Eric Khaw**  
日興アセットマネジメント  
アジア リミテッド  
ポートフォリオ・マネージャー

## オーストラリア



- 米ネット通販大手のオーストラリアへの本格進出などを受けたeコマース市場拡大を背景として、物流施設の需要が高まっていることから、引き続き、産業施設セクターを有望と考えています。
- シドニーの都市部を中心に、高いオフィス需要が続く中、オフィスの新規供給が少なく、賃料上昇が見込まれていることから、引き続きオフィスセクターに注目しています。
- 保育園や医療センター、農作地などを保有するニッチな分野のリートにも注目しています。

## シンガポール



- オフィスセクターについては、今後数年間の新規供給が限定的となる一方、底堅い需要が見込まれています。優良なオフィスの賃料は上昇サイクルの過程にあり、前向きな見通しに変更はありません。
- ホテルの新規供給が限定的とみられるなか、インドネシアやインドなどからの観光客の増加が中長期的に見込まれていることから、需要の高まりを背景とした賃料成長が期待できるため、ホテルセクターに注目しています。

## 香港



- 中国本土と香港を結び初の高速鉄道の開通や、香港・マカオブリッジの開通、珠江デルタ（中国の深セン、広州などの珠江河口地域）の政府主導での開発などを受けた利便性の向上などから、香港のオフィスやホテル、都市部の商業施設の需要は、中長期的に底堅いとみています。
- 香港郊外の商業施設においては、域内消費が底堅く推移するなか、テナントの入替えや物件のリニューアルによる賃料上昇余地の大きさなどを背景に、引き続き収益拡大が期待されることから、郊外型の商業施設を保有するリートに注目しています。

上記は、当ファンドの主な投資対象である、「オーストラリアリートマザーファンド」および「アジアリートマザーファンド」の運用を行う日興アセットマネジメント アジア リミテッドからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

## 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

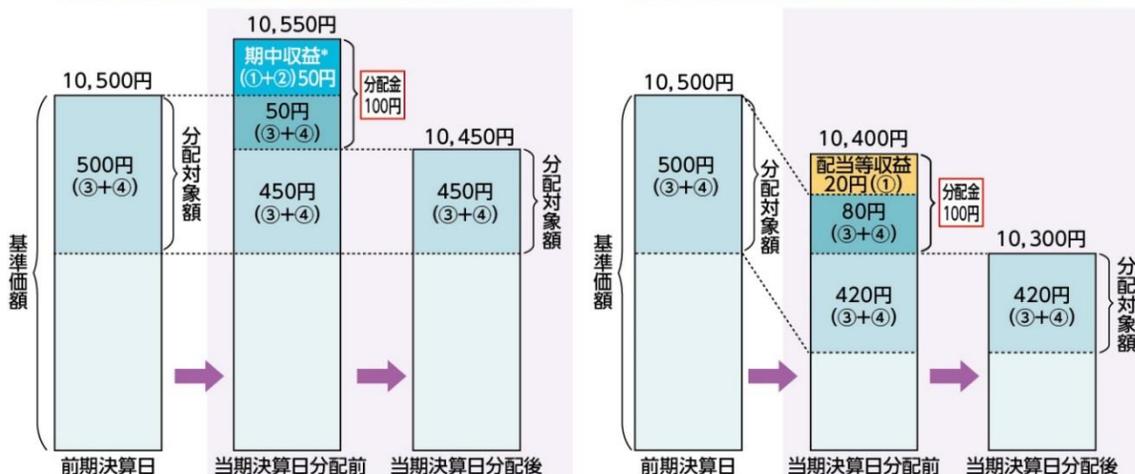
計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配金分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金(当該計算期間よりも前に累積した配当等収益および売買益)④収益調整金(信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分)です。

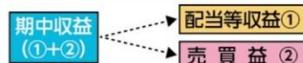
### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



\*上図の期中収益は以下の2項目で構成されています。



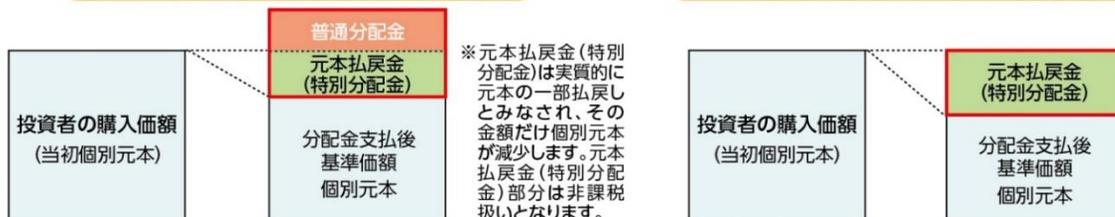
※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

上記のとおり、分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の安全性を追求される投資者の場合には、市場の変動等に伴う組み入れ資産の価値の減少だけでなく、収益分配の支払いによる元本の払い戻しにより、本ファンドの基準価額が減価することに十分ご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の基準価額の値上がりだが、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払い戻しに相当することがあります。元本の一部払い戻しに該当する部分は、元本払戻金(特別分配金)として非課税の扱いになります。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

## オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

## ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆様**の投資元本は保証されているものではなく、**基準価額**の下落により、**損失を被り、投資元本を割り込むことがあります**。信託財産に生じた利益および損失は、**全て投資者の皆様**に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

リートの価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク、株価変動リスク

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

## 【その他の留意点】

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

●ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## お申込みメモ

信託期間	無期限(2017年2月1日設定)
決算日	<Aコース、Bコース>毎月14日(休業日の場合は翌営業日) <Cコース、Dコース>毎年4月14日および10月14日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金再投資コースの場合は、税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
換金制限	大口の換金には制限を行う場合があります。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購入・換金 申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。 (休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。) ・シンガポール証券取引所の休業日・香港証券取引所の休業日 ・オーストラリア証券取引所の休業日およびシドニーの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

## ファンドの費用

## ▼お客様が直接的にご負担いただく費用

【購入時】 購入時手数料	購入価額に販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。 <b>(上限3.24%(税抜3.0%))</b>
【換金時】 信託財産留保額	<b>ありません。</b>

## ▼お客様が間接的にご負担いただく費用

【保有期間中】 実質的な 運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して <b>年率1.7064%程度(税抜1.58%程度)</b> 当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用(年率1.1124%(税抜1.03%))に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用(年率0.594%程度(税抜0.55%程度))を加えた、お客様が実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況により変動します。
【保有期間中】 その他の費用・ 手数料	有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度、監査費用は日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動する等の理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)／Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## オーストラリア・アジアREITファンド [愛称:AAフォーカスリート]

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)／Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)

Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型)／Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

## 委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社：ちばぎんアセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]  
 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第443号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 ホームページ：<http://www.chibagin-am.co.jp/>  
 サポートダイヤル：03-5638-1451 受付時間 9:00～17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社：三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社：下記の【販売会社一覧】をご覧ください。[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

## 販売会社一覧

商号等	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社東邦銀行 ※	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○		
とうほう証券株式会社 ※	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○		

※オーストラリア・アジアREITファンド Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)のみの取扱いです。

## 【ご留意事項】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。